



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場取引所 東 札

上場会社名 クワザワホールディングス株式会社
 コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-860-5080
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	43,340	△1.1	135	△66.7	352	△32.0	140	△55.1
2020年3月期第2四半期	43,819	0.8	405	60.3	517	45.9	313	62.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 238百万円 (△11.9%) 2020年3月期第2四半期 270百万円 (51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	9.36	—
2020年3月期第2四半期	20.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	48,674	13,816	28.1
2020年3月期	44,042	13,668	30.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 13,676百万円 2020年3月期 13,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,500	△1.0	500	△57.7	800	△40.6	100	△88.2	6.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社フリー・ステアーズ、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	16,694,496株	2020年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,665,129株	2020年3月期	1,665,084株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	15,029,385株	2020年3月期2Q	15,029,463株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済活動の急速な停滞の影響から、極めて厳しい状況となりました。

緊急事態宣言解除に伴う経済活動の段階的な再開により、足下には景気持ち直しの動きが見られるものの、回復は感染症発生前の水準には至らず、新型コロナウイルス感染症の収束長期化や感染再拡大の懸念も残ることなどから、景気の先行きは予断を許さない状況が続きました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、社会インフラの改修・整備に向けた公共投資が比較的堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、新設住宅着工戸数は減少傾向に拍車がかかり、民間投資は実体経済の落ち込みから慎重な動きが見られました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業を展開するとともに、一部PB商品についてトップランナー認証を受けるなど新たな商材の確保を図り、利益率の改善に努めました。こうした収益力強化の取り組みに加え、IT環境の整備や業務の見直しによる生産性向上を合わせて強化いたしました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で資材仕入の納期遅延のほか、工事の一時中断や延期、イベントの中止などの悪影響も発生いたしました。感染症の対策としてオフィスでのソーシャルディスタンス確保、Web会議の活用やテレワークでの受注体制確保などの施策を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高433億40百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は1億35百万円（同66.7%減）、保険解約返戻金を計上した結果、経常利益は3億52百万円（同32.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億40百万円（同55.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設資材)

基礎資材売上は北海道内の大型施設、インフラ工事を中心として順調に推移し、建設資材売上は一部地域においては順調に推移したものの、全国的には住宅投資の減少や資材仕入の納期遅れなどが影響した結果、売上高は307億18百万円（前年同期比1.4%増）となり、セグメント利益は3億28百万円（同23.5%減）となりました。

(建設工事)

大型物件工事の完成工事などが比較的順調に推移しましたが、職方不足などが影響した結果、売上高は106億45百万円（同6.2%減）となり、セグメント利益は39百万円（同80.2%減）となりました。なお、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

(資材運送)

建設資材運送が減少しましたが、燃料価格の下落が大きく影響した結果、売上高は17億43百万円（同10.5%減）となり、セグメント利益は2億8百万円（同34.5%増）となりました。

(その他)

賃貸収入が順調に推移した結果、売上高は2億32百万円（同3.3%増）、セグメント利益は90百万円（同21.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ46億31百万円増加して486億74百万円となりました。流動資産は同41億2百万円増加して374億69百万円、固定資産は同5億29百万円増加して112億4百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形及び売掛金や未成工事支出金の増加によるものであります。固定資産の増加の主なものは、株式会社フリー・ステアーズ取得に伴うのれんの増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億92百万円減少して73億73百万円となりました。無形固定資産は、同5億84百万円増加して9億82百万円となりました。投資その他の資産は、同1億37百万円増加して28億48百万円となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ44億83百万円増加して348億58百万円となりました。流動負債は、同26億52百万円増加して294億33百万円、固定負債は同18億31百万円増加して54億24百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の増加の主なものは、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1億47百万円増加して138億16百万円となりました。この増加の主なものは、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.7%から28.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から修正を行っております。詳細につきましては、2020年11月11日に公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,647	8,095
受取手形及び売掛金	20,628	22,208
商品及び製品	503	538
販売用不動産	1,166	1,131
未成工事支出金	2,987	4,898
原材料及び貯蔵品	70	88
その他	405	543
貸倒引当金	△42	△34
流動資産合計	33,367	37,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,434	3,369
土地	3,310	3,236
その他(純額)	821	768
有形固定資産合計	7,566	7,373
無形固定資産		
のれん	173	788
その他	224	194
無形固定資産合計	398	982
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	189	196
その他	2,633	2,772
貸倒引当金	△112	△121
投資その他の資産合計	2,710	2,848
固定資産合計	10,675	11,204
資産合計	44,042	48,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,881	14,867
電子記録債務	7,104	7,736
短期借入金	3,230	1,680
1年内返済予定の長期借入金	290	490
未払法人税等	322	225
賞与引当金	204	304
工事損失引当金	—	4
完成工事補償引当金	31	29
その他	2,716	4,095
流動負債合計	26,780	29,433
固定負債		
長期借入金	1,996	3,814
退職給付に係る負債	87	95
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,282	1,287
固定負債合計	3,593	5,424
負債合計	30,374	34,858

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	13,138	13,188
自己株式	△446	△446
株主資本合計	13,434	13,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	217
退職給付に係る調整累計額	△30	△26
その他の包括利益累計額合計	102	191
非支配株主持分	131	139
純資産合計	13,668	13,816
負債純資産合計	44,042	48,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	43,819	43,340
売上原価	39,807	39,553
売上総利益	4,011	3,786
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,579	1,594
その他	2,026	2,057
販売費及び一般管理費合計	3,605	3,651
営業利益	405	135
営業外収益		
受取利息	15	15
受取配当金	23	23
持分法による投資利益	19	30
保険解約返戻金	—	132
雑収入	92	57
営業外収益合計	150	260
営業外費用		
支払利息	32	33
債権売却損	0	0
雑損失	5	9
営業外費用合計	38	43
経常利益	517	352
特別利益		
固定資産売却益	21	2
投資有価証券売却益	0	2
特別利益合計	22	5
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	0	—
投資有価証券清算損	4	—
特別損失合計	5	3
税金等調整前四半期純利益	533	353
法人税等	218	204
四半期純利益	314	148
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	313	140

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	314	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	84
退職給付に係る調整額	1	4
その他の包括利益合計	△44	89
四半期包括利益	270	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268	229
非支配株主に係る四半期包括利益	1	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	533	353
減価償却費	216	231
のれん償却額	69	91
受取利息及び受取配当金	△38	△39
支払利息	33	33
持分法による投資損益(△は益)	△19	△30
投資有価証券清算損益(△は益)	4	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	△19	0
売上債権の増減額(△は増加)	△2,608	△1,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,508	△1,635
その他の資産の増減額(△は増加)	△93	30
仕入債務の増減額(△は減少)	3,466	2,336
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,176	1,447
その他の負債の増減額(△は減少)	△314	△191
その他	△409	△8
小計	△514	1,153
利息及び配当金の受取額	38	39
利息の支払額	△33	△33
法人税等の支払額	△308	△312
持分法適用会社からの配当金の受取額	4	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△812	851
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△0
定期預金の払戻による収入	—	4
固定資産の取得による支出	△113	△63
固定資産の売却による収入	44	100
投資有価証券の取得による支出	△6	△2
投資有価証券の売却による収入	1	3
投資有価証券の清算による収入	5	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△319
貸付けによる支出	△138	△159
貸付金の回収による収入	91	63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114	△372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△950	△1,850
長期借入れによる収入	—	2,200
長期借入金の返済による支出	△145	△240
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△90	△90
リース債務の返済による支出	△51	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,236	△31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,163	447
現金及び現金同等物の期首残高	7,095	7,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 4,931	※ 8,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社フリー・ステアーズの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

なお、株式会社フリー・ステアーズは当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,299	11,345	1,948	43,593	225	43,819	—	43,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	555	139	288	983	42	1,026	△1,026	—
計	30,855	11,485	2,236	44,577	267	44,845	△1,026	43,819
セグメント利益	429	197	155	781	75	857	△451	405

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△451百万円には、セグメント間取引消去62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,718	10,645	1,743	43,107	232	43,340	—	43,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	423	161	303	888	47	935	△935	—
計	31,141	10,807	2,047	43,995	280	44,275	△935	43,340
セグメント利益	328	39	208	576	90	667	△532	135

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△532百万円には、セグメント間取引消去63百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△595百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。